

\ ご存知ですか？ /

お薬に関する負担を軽減する

リフィル処方箋 ・ バイオシミラー

リフィル処方箋



処方箋が繰り返し使える

症状が安定していて、通院の必要がないと医師が判断した場合に利用できる処方箋です。最大3回まで繰り返し使えるため、2回目・3回目は診察なしで、直接薬局から薬を受け取ることができます。

メリット ① 診察・通院の負担が軽減

診察や通院に充てていた時間を有効活用できるほか、交通費も抑えられます。

メリット ② お財布にやさしい

診察にかかる費用が2回分不要になるため、医療費が安くなります。

メリット ③ お薬の受取日が自由

2回目以降は指定日の前後7日間と余裕があるので、予定の調整がしやすくなります。

バイオシミラー



バイオ医薬品が低価格で使える

特許の切れたバイオ医薬品（細胞や微生物を利用して作られる新しい薬）と同等の有効性と安全性を持ったバイオ後続品です。先行バイオ医薬品と比べて低価格なので、医療費の負担が軽くなります。

メリット ① お財布にやさしい

バイオ医薬品の開発には高い技術と設備が必要なため、その価格が負担でしたが、バイオシミラーは特許の切れた後に他の製薬会社が製造・発売するので、先行バイオ医薬品の原則70%で算定されます。

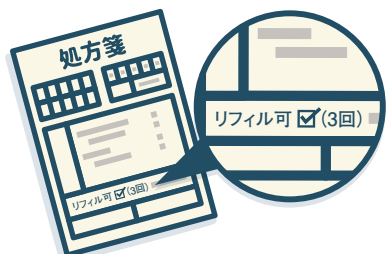
※高額療養費制度をご利用の場合、医療機関の窓口での負担額が変わらない場合等があります。詳しくは、医師にご確認ください。

メリット ② 安心・安全

先行バイオ医薬品と同等の有効性と安全性を備えていることが様々な試験により確認されているので、安心して使うことができます。

リフィル処方箋 Q&A

Q1 リフィル処方箋をもらうにはどうしたらいいですか？



A1

かかりつけ医に相談しましょう。しばらく通院を控えても大丈夫と医師が判断すれば「リフィル可」欄に☑を記入した処方箋がもらえます。

Q2 どんな薬でも受け取れますか？



A2

投与量に制限がある薬（向精神薬など）、湿布薬などは対象外となります。服薬中の薬がリフィル処方箋に対応しているかどうかは医師に確認しましょう。

Q3 診察がまったくないのは不安です…。



A3

リフィル処方箋の利用期間中でも受診は可能です。また、副作用の疑いがある場合や服薬状況を薬剤師が把握できない場合、リフィル処方を中断・中止することもあります。

リフィル処方箋についてはかかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

リフィル処方箋は医師に発行してもらう必要があります。日頃から自身の体のことを十分に理解した「かかりつけ医」を持ち、体調の変化や不安があればいつでも相談できるようにしておきましょう。また、服薬状況を把握し、サポートしてくれる「かかりつけ薬局」もあるとさらに安心です。



バイオシミラー Q&A

Q1 バイオ医薬品とはどういうお薬ですか？



A1

細胞や微生物など、生物の力を利用して作られるタンパク質などを有効成分とする新しいお薬です。主に注射によって使用され、がんや自己免疫疾患など、これまでのお薬では治療の難しかった病気にも効果が期待されています。

Q2 バイオシミラーの効果は先行バイオ医薬品と同じですか？



A2

バイオ医薬品は複雑なタンパク質を有効成分とするため、先行品とまったく同じものを作ることはできません。ただし、バイオシミラーは有効性や品質、安全性が先行品と同等であることが国の厳しい審査によって確認されています。